

運動部活動に対するモチベーション促進要因及び阻害要因に関する研究

The Study about Advance factor and Suffocate factor of Motivation toward Sports club activities

1K06A002

指導教員 主査 堀野 博幸先生

青柳 健隆

副査 岡 浩一朗先生

．序論

部活動を運営する際、いかに、選手に自発的な行動を起こさせるかということは、コーチングの大きな課題である。指導者の役割として、技術指導はもちろんだが、それと同様に大切なこととして、選手の、部活動に対するモチベーションを高める、ということがある。そのためには、選手のモチベーションが、どのような要因によって促進され、また、阻害されるのかということを知ることがある。しかし、現状では、先行研究によって扱われている因子が異なっており、また、練習環境に関する項目などについても、十分に調べられていない。そこで、本研究では、部活動に対するモチベーション促進要因、及び阻害要因についての、因子、項目を調査・検討・分類した、質的研究段階の調査 1 を実施し、その結果を踏まえ、因子分析的手法を使用した、量的研究段階の調査 2、を実施した。

．調査 1

部活動に対するモチベーション促進要因、及び阻害要因の、抽象的概念と、その具体的項目の両者を明らかにすることを目的とし、高校生から大学院生までの、男女 50 名を対象に、インタビュー調査を行った。その後、質的研究の手法を用いて、モチベーション促進要因に関するものと、阻害要因に関するもの、それぞれについて、先行研究とインタビューから得られた項目を、検討し、分類して、表にまとめた。まと

められた具体的項目には、先行研究からは抽出されなかった項目が追加された。さらに、阻害要因に関しては、「環境」、「組織」に関する因子が、存在する可能性が示唆された。また、インタビュー調査からは、指導者に関する多くの回答をはじめとし、その他様々な回答が得られ、コーチングの問題点、介入可能な点について示唆された。

．調査 2

部活動に対するモチベーションを高める出来事には、どのような因子があるのか明らかにすることを目的とし、高校または大学で部活動経験のある、高校生から大学生までの、男女 368 名を対象に、アンケート調査を行った。349 名分の有効回答を、因子分析処理した結果、モチベーションを高める出来事の中で、影響のある因子として、「上達・達成・競技向性」因子、「自尊心・評価」因子、「外的要因」因子、「対抗心」因子と解釈された 4 因子が抽出された。また、アンケート結果の平均値より算出された項目得点より、各項目がモチベーションに及ぼす影響が明らかにされた。また、本結果から、指導の際にどのような側面から介入するべきか、という指針となる因子が示された。

．総合考察

本研究で、部活動に対するモチベーション促進要因、及び阻害要因が、収集、検討され、分類された。また、モチベーションを測定する尺

度を開発する際の，課題点が示された．まとめられた因子，項目は，選手理解や，指導方法の改善に活用できる．その中で，指導者の介入によって，選手のモチベーションを高めることができる項目が，数多く確認された．指導者は，選手個人や，チームのモチベーションを高めるために，明らかにされた因子，また，分類された項目の角度から，選手をよく観察し，促進要因を刺激し，阻害要因を取り除くことで，選手のモチベーションを高めることに貢献できるであろう．